

5Sを継続させるためには



立石秀雄
 (株)ちばざん総合研究所
 経営コンサル第一部
 主任コンサルタント

ここ数年、「5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の活動がなかなか継続できない」「5Sが継続している職場はどのように活動しているのか」という問い合わせが多い。今回は5Sを継続させるために重要なポイントを2点ほど述べてみたい。

ポイント①

**5S委員会の設置・
5S年間計画表の作成による
事前の準備を怠らない**

会社が施策に取り組む時には、組織化して推進体制を構築すること、計画を作成し、何をいつまでに実施するかを決めることが非常に重要となるが、これは5Sについても全く同様である。

ある会社では職場の環境整備を各部門に任せていたが、5Sの計画も作成されず、統一された活動基準もない為、部門間で推進状況にばらつきが見られ、中には活動が中断した部門もあった。このため推進体制を見直し、5S委員会を立ち上げ、5S年間計画表を作成のうえ全社的に5Sを推進したところ、推進状況のばらつきもかなり解消され、活動も継続されている。

「委員会を作ると人手が必要」「計画を立てるのは大変」「計画に縛ら

れてしまう」などと感じる方もいるかもしれないが、体制や計画無しに場当たりに5Sを進めている多くの職場では結果として活動が継続できていないし、もし計画どおりに5Sが進んでいなければ、原因を追究したうえで場合によっては計画の見直しを検討すればよい。この他にも5Sを経営計画や人事評価に組み入れている職場もあるが、5Sを始める前に「5Sを継続させるためにはどうすればよいか」という視点から事前の準備をしっかり行う職場は5Sが継続できている例が多い。中でも「5S委員会の設置」「5S年間計画表の作成」は事前の準備のうち、最も欠かせないものであると思う。

ポイント②

**5S評価表を作成し、評価は
点数化したうえで定期的に
巡回審査を実施する**

5Sを実施し、初めは「要らない物が捨てられてすっきりした」「職場がきれいになった」などの成果が上がっても、時の経過とともに活動が停滞し、職場環境が元に戻ってしまう例が多い。これは、職場環境の変化を時系列で把握していないことが原因であるが、この現象を防ぐには「5S評価表」を作成し、評価を点

数化したうえで定期的に巡回審査を実施することが必要となる。

5Sを推進している職場でも、「職場環境が良くなったか、それとも悪化したか」を把握する手段としては、評価を点数化したうえで動きを見るのが最も効果が上がる。そのうえで「5S評価表で80点以上を取る」「5Sコンクールで1位を取る」などの目標を決め、定期巡回審査に照準を合わせ、職場環境を整備している職場は、たとえ活動時間が少なくても5Sが停滞していることはないと思う。

どんな企業でも「良い職場環境の中で仕事をスムーズに進めたい」と感じてはいるが、日常業務に追われる中、なかなか職場環境整備のための時間が取れないのが実情である。しかし企業として「5S」に取り組むことは、職場環境を向上させるひとつのきっかけになる。そして5Sを停滞させず、活動を継続させるには、「体制を整備し、計画を立て、事前の準備をしっかり行う」「評価を点数化して動きを見る」など、一見地道に見えることを忠実に進めることが非常に重要であると思う。ぜひこれらのことを実践して職場の環境整備を行い、より働きやすい職場作りを実現していただきたい。